

各部会報告資料

- ・子ども部会(P1)
- ・就労部会(P2～3)
- ・相談支援部会(P4～5)
- ・精神障がい者地域移行支援部会(P6)

平成30年8月17日

熊本市障がい者自立支援協議会

**平成 30 年度 第 2 回熊本市障がい者自立支援協議会
子ども部会 実績報告**

【活動について】

- 1．昨年度の事例検討で抽出された課題を整理し、本会議を通じて、市施策へ反映されることを目指していきたい。
- 2．余暇支援マップの更新については、毎年 7 月期までに更新すると同時に、施設プラグとの関係性をどうするか、今後の検討課題としたい。

開催月	活 動 内 容
4 月	○ 自己紹介 ○ 障がい者自立支援協議会子ども部会の目的 今年度活動計画の検討 その他（お知らせ）
5 月	施設プラグについて（KP5000 山田氏より説明の後、内容について、部会内の意見の集約。） ○ その他
6 月	○ 本会議の報告 ○ 余暇支援マップ作り（グループワーク） ○ 事例検討（ヘルパー事業所の現状について）
7 月	今年度後半の活動について 子ども部会主催の研修会の検討 その他（事例紹介）

【今後の活動予定】

- 次期は、新たな取り組みとして、公立幼稚園、高等学校（湧心館高校）における通級指導教室についてそれぞれの担当者からお話を伺う予定。
子ども部会主催の研修会について、できれば今年度中の開催を目指して検討していく。

開催月	内容
8 月	施設プラグの検討 余暇活動支援マップの確認
9 月	本会議報告
10 月	未定
11 月	ミニ研修（公立幼稚園の 5 歳児クラスの通級指導教室 「あゆみの教室」について）
12 月	ミニ研修（湧心館高校の通級指導教室について）

平成30年度 第2回熊本市障がい者自立支援協議会 就労部会報告

今年度の取組について

【目標】 参加しやすくなじみやすい就労部会。参加者同士の連携をさらに深める。

【部会全体の取組】

- ・ 就労フェアの開催
- ・ ミニ研修の開催とグループワーク（毎月）
- ・ 本会議と就労部会をリンクさせるため、運営委員会や就労部会で本会議のことを報告する。
- ・ 参加者の情報交換と情報共有

【各班の現在の具体的取組内容】

- ・ 当 事 者 対 話 班：ネットラジオの放送準備、就労フェアでの研修会の企画
- ・ B e 助 っ 人 班：就労部会ホームページ更新、就労フェアのアンケート作成と周知活動
- ・ 企 業 就 労 班：しごといく Vol.7 の製作、就労フェアで開催する企業セミナーとサポート企業・団体の認定式・表彰式の準備
- ・ 研 修 班：毎月開催されるミニ研修の企画実行
- ・ 事業所ネットワーク班：防災マニュアルの作成、就労フェアでの合同面談会の検討
- ・ 工賃向上うるおい班：熊本市役所1階ロビーでの展示会準備、就労フェアにおける障がい者サポート企業・団体の表彰式で使用する胸章の作成

【就労フェアの内容（案）】

- ・ 開催日時：平成31年1月18日（金） 会場：ウェルパルクまもと 大会議室
- ・ 目 的：障がい者雇用が気になっている方や関わっている方が「つながる・つなげる場」
当事者と企業の参加者を増やすための創意工夫に力をいれる
参加者の学びや情報収集につながることを意識する
- ・ 内 容： 展示（防災マニュアルや各事業所の紹介）

ステージ発表

- ・ 当事者対話班の発表
- ・ 企業セミナー
- ・ 熊本市障がい者サポート企業・団体の認定式、表彰式

ブース

- ・ 福祉事業所とご利用者をつなげるための合同面談会

- ・ その他：研修班が中心となって、各班の就労フェア担当者とチームをつくり開催に向けての準備を進めている。

運営委員会での取組

- ・ 部会長、副部会長、各班のリーダー、サブリーダー、事務局で構成
- ・ 部会の活動内容を具体化し、方向性を決める。
- ・ 部会の中で吸い上げた参加者の意見やリーダーの意向等を協議し（検討）審議（決定）する。

平成 30 年度 第 2 回熊本市障がい者自立支援協議会
相談支援部会報告

全体目標

- ・障がいを持つ方の支援を行う中で見えてくる生活ニーズを明らかにし、その中にある課題の集約や整理を行うと共に、改善策等を検討し、障がいを持つ方がより安心して地域で生活できる環境を整備していく。
- ・地域の障がいを持つ方を支援する相談支援専門員が抱える課題を集約・整理し、改善を行っていく。また、相談支援専門員のスキルアップと共にお互いに支えあえるフォローアップ体制を整えていく。
- ・平成 30 年度に行われた法改正に伴う運用について、相談支援の実情等を照らしながら障がい保健福祉課と協働しそれらの検討を行う。

全体状況

【研修等】

5 月 ファシリテーター養成研修（54 名参加）

6 月 GSV（グループスーパービジョン）研修（53 名参加）

いずれも講師は「障がい者相談支援センター青空」 大島 真樹 センター長

日々の会議運営や年度内に予定している「事例検討会」をスムーズに行えるよう企画。相談支援部会員に限定せず、熊本市内の相談支援事業所へ参加の案内を行う。

【サービス提供事業所からのインフォメーション】

新規で開設した事業所や利用者を募集している事業所等からのインフォメーション依頼があった場合は 1 事業所 2～3 分程度で案内を頂いている。これにより、各事業所を担当者が各相談支援事業所に出向く必要が軽減され毎回数か所より依頼を頂いている。

【行政からの報告】

自立支援協議会本会議内容、障がい保健福祉課の業務分担等について適宜必要な内容を部会員に案内頂いた。

各班における年間計画と進捗状況等

【事例検討班】

事例検討に必要な情報や項目の確認し班員の中での共通認識を図っている。それらを盛り込んだ事例をどう検討していくかを考えていく。

【ガイドライン班】

「熊本市障害者（児）の障害福祉サービス等に関する支給基準を定める要綱」（通称：ガイドライン）についてアンケートを取った結果を、相談員で返答できること 熊本市に確認が必要なこと 熊本市に提案すること、に分けて分類・整理。大方の整理が出来たので、具体

的な対応方法を今後検討予定。

【新規事業所フォローアップ班】

概ね事業開始 1 年半以内の相談支援事業所の方と、それにアドバイスを行えるベテラン相談支援専門員で編成。座談会形式を用いて互いの情報交換をすることで日々の業務に繋げていく。

【拠点整備班】NEW!

平成32年度までに整備予定の地域生活支援拠点整備について検討を進める。協議の結果、緊急時の相談対応に関する調査を行い実情を把握することになり、現在アンケート項目等を協議中。9月までには取りまとめを行い集計予定となっている。

【法改正に伴う運用検討班】NEW!

平成 30 年度の法改正に伴う運用を検討する。今般の改正でサービス提供事業所等から相談支援事業所へサービス提供時の情報提供を行っていくことが示されている。これについての報告様式(案)を作成した。今後、サービス提供事業所側の意見も聴取しながら完成版に近づけていきたい。様式の周知方法等については今後更に検討していく。

平成 30 年度 第 2 回熊本市障がい者自立支援協議会
精神障がい者地域移行支援部会 報告

【これまでの取り組み】

5月の部会では、事業の目的とその内容、実施体制の共有を行った。また、参加者から地域移行・地域定着の支援の現状や課題、部会で取り組みたいテーマ等を出してもらい、それらの意見も参考に以下のことを実施した。

指定一般相談支援事業所等との交流・全体研修の実施

開催日	内容
6月12日	第1回熊本市障がい者自立支援協議会報告 講話「精神障がい者の地域移行をめぐる動向～精神科医療と地域移行の現状～」 中野 誠也 氏（地域体制整備アドバイザー） グループワーク 6月部会は指定一般相談支援事業所との交流のための研修会として実施
7月10日	説明「平成30年度障害福祉サービス等報酬改定における改定内容について」 熊本市障がい保健福祉課 職員 グループワーク

区毎の地域移行支援への取組みと進捗報告

部会のグループワークにて、区毎で地域包括ケアの実現に向けた状況整理票をまとめた。具体的には医療・相談支援事業所（地域）・行政・その他のそれぞれの立場から「現在の状況」「課題認識・困りごと」「自治体（区）の持つ強み」「目指すべき理想の自治体（区）像」「理想の実現に向けた方策」について検討し整理を行った。また、区毎で出た共通の意見をもとに全体版としての状況整理票もまとめた。

【今後の予定】

全体研修の企画・実施

- ・ピアサポート活用事業を利用した退院支援・退院後地域生活支援（支援者による報告）
- ・ピアサポーターによる実践報告・意見交換
- ・ファシリテーター研修実施による人材育成
- ・県地域移行支援研修の実施

指定一般相談支援事業所等との交流

- ・熊本市障がい者相談支援事業連絡協議会との合同研修会・意見交換会の実施

退院支援ポスターの掲示及びリーフレット配布後の効果確認

区毎の地域移行支援への取組みと進捗報告（定期的に実施）

- ・区毎の地域移行支援会議の実施
- ・ロードマップに基いた地域移行支援の推進と進捗状況の共有
- ・地域包括ケアの実現に向けた状況整理票のとりまとめの共有